
俺と彼女の魂が

Mr.T

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺と彼女の魂が

【Nコード】

N0493R

【作者名】

Mr.T

【あらすじ】

ある事故がキッカケで二人の魂が入れ替わってしまった。どうすれば元に戻るのか、二人で協力していくストーリー！。

変身

「こ、ここはどこだ？」

目を開けると見慣れない天井とカーテンが見えた。

「目が覚めましたか？」

看護婦さんの声だ。そういえばなんでこんな所にいるんだっけ？・・・あ、思い出した。それは金曜日のこと・・・

「わあー、遅刻しちゃうー」

いつものように遅刻になりかける時間に家を出る。いつもこういうときは、信号のない路地を使っていつていた。

この日もいつもと同じように路地を全速力で駆けていると、一人の少女がいた。同じ学校の生徒だったような気がした。もう少しでその少女に追いつこうとしたとき、右からトラックが走ってきた。あのまま行ったら少女にぶつかる。少女は気づいていない。これはヤバイッ

「危ない！」

ギリギリの所で飛び込む、こっからの記憶はない。

それにしても頭かいーなー・・・え、なんか、いつもより明らかに髪が長いんだけど、なんで？

「看護婦さん鏡貸してくれませんか。」

なんか声も異常に高いような

「はいどうぞ」

その時僕は手鏡を見て思わずちびりそうになった。なんと、女の子になってしまったのだ。

「ぎいいいいいやあああああああああああああああああああああ」

病院中にこの声が響く、

「どうしたんですか？いきなり大きな声を出して」

「あ、す、すいません。」

「あつ、あなたと一緒にいた人も目を覚ましたそうですよ。」

俺と一緒に？というか俺の本当の身体は？と思いながらとなりのカーテンを開けてみた・・・

「ぎゃ~~~~~」

「ぎゃ~~~~~」

なんとそこには俺の体があった。苦さすぎる足、ばさつとした頭から絶対にじぶんの身体だと分かった。

「な、なんで私がそこにいるのよ?!」

俺の身体がそう言ってきた。

「それはこっちのセリフだよ。」

さてよっ、これ……身体と魂が入れ替わってる！ マジないよ、これありえないよ。これどうやって直すの、ねえ、このまま戻らないってのは無しだからな。……って焦ってもどうにもならないし、ここは落ち着け、深呼吸だ。フーハーフーハー。

「これは恐らく身体と魂が入れ替わったんだろう。焦ったってどうにもならない。どうする？この後。」

「待って、一回状況を確認しよう。」

- 1 私が登校中にトラックにひかれそうになる。
 - 2 そこに貴方が飛び込んで助ける。
 - 3 そして塀にぶつかって、二人とも気絶。
- 恐らくその時に魂が入れ替わったんでしよう。
- 4 そして今に至る。と言ったわけだ。」

「そういえば、あなたのなまえは？」

「私は小村 葵 あなたは？」

「俺は長沢 準」

「お二人さん、お話ししているとところすいませんけど、ご家族が来ましたよ。」

え、いきなり、どう対応すればいいの？ねえ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0493r/>

俺と彼女の魂が

2011年3月26日09時29分発行